

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	堺市古川ポンプ場	階数	地下4階、地上3階
建設地	大阪府堺市堺区神南辺町4丁128番	構造	RC造
用途地域	市街化区域、法第22条区域	平均居住人員	20人
地域区分		年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2017年2月1日
敷地面積	9,692㎡	作成者	株式会社 NJS
建築面積	3,893㎡	確認日	
延床面積	13,837㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.3

3 設計上の配慮事項		
総合	維持管理を効率的・経済的に行うため、各施設・各室の配置計画は、合理的な動線計画とし、建築各部及び建築設備の保守管理も、維持管理費の軽減に配慮している。	
その他	0	
Q1 室内環境	騒音源となる原動機室と居住エリアとなる制御室の界壁を厚くすることで耐震性を高めると共に遮音性を高めている。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	建築基準法に定められた25%増の耐震性を確保している。また、主要内装仕上げ材や空調、給排水管の更新必要間隔が通常よりも長くなるように部材を選定している。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	建物の高さや壁面のセットバック等、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	主要な用途別エネルギー消費量の内訳を把握して、消費特性の傾向把握、分析を行い、妥当性を確認できるようにしている。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	危険物の特殊消火設備として、二酸化炭素消火設備を採用している。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	騒音、振動、悪臭等の基準、条例を遵守し、規制値以下に抑えている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	堺市古川下水ポンプ場	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区神南辺町4丁128番地	0.9	B-
	主用途/延床面積	工場 / 13,836.78 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減		●	●	●
省エネ対策	3	●	●	●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●	●	●
安全快適な暮らし	3	●	●	●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			0.0	
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3	
		住居・宿泊部分	3.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				0.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				0.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				0.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.5
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.0
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.8	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	